朝鮮日報

紀元二千五百六十五年
韓曆光武九年
[illegible]

定價 [illegible]
廣告 [illegible]
發行所　朝鮮日報社

言論

奮つて應募せよ

吾人は既往三回の國庫債券及び第一回の外債に就て常に其の價額の安からざるを認む、其の時機の生憎にも一は九連城陥落前、他は鴨緑開城前なりしとのため、努々比較的不利なる條件を忍ぶの止むべからざるものありし。[illegible]

秋報頻々

▲岡澤侍從武官長の歸朝　[illegible]

●敵の作戰計畫　露都の軍事記者は更に四十萬の大兵を極東に増遣するの意ありと云ふ又參謀本部作戰局員の言に據れば露國は日本兵の[illegible]を避けハルビンより撤退し浦鹽を策源地とする新作戰計畫を決定したりと而して彼等の期待する所にては露國の浦鹽水雷艇は日本海上の運動を妨ぐるに與りて大なる力あるべしと

●拿捕船總數　其筋の調査に據れば今日迄に拿捕したる外國汽船中一千噸以上のもの三十二隻にして此内には仁川に於て捕獲したるレンヂー號も加はり居りて其總噸數十萬四千噸なりと之に對し我國にて喪失したる船舶の千噸以上のもの四隻にして其總噸數一萬四千噸なりと

●追擊戰狀報　確なる情報によれば敵の退却に對する我兵の追擊は左翼方面最も[illegible]

敵の死傷は是までにて拾万に達す

●總退却の困難(全く全滅)　[illegible]

小品文

●あはれの君へ　天　奴

[illegible]

講談

武勇の譽

(十一回)　井　竹林講演

[illegible]

朝鮮日報

公報

●奉天戰日色なし（拾一日午前八時領事館着）

九日大本營着公報に曰く（城塔附近にて）敵の陣地お嶺の頑强の抵抗をなせし敵を攻擊中の我部隊は數日來攻擊續行し三月九日午前二時全く是を擊退し次て追擊中馬群丹方面の我部隊も依然敵を壓迫しつゝ撫順方面へ前進中奉天の南及び東方地區にありては全く敵を渾河右岸に壓迫し其右岸に停止し堅固に防禦工事を築き敵を攻擊中奉天の西及び北方地區にありては最も頑强抵抗中の敵に對し猛烈に攻擊中十日 彈丸砂塵を卷き日色爲に曀く全く展望し能はざる狀態なり

●大戰續（全日午後一時着）

我一部隊は三月九日午後撫順を占領し今や撫順北方高地の一隅に據れる敵を攻擊中なり

●捕獲山の如し（全上）

包圍攻擊全く其の目的を達し 捕獲極めて多大なり

（三月拾日午前拾時大本營着）三月拾日午前拾時奉天を占領せり其後益々追迫して今や奉天附近各方に於て非常の激戰中捕虜及び兵器彈藥糧秣等諸品の捕獲極めて多大なり

各地通信

●京城通信（三月九日後八時着）

▲玄暎運の歸京　東京出張中の玄暎運は明後十日の豫定なる旨當地の或方に通知あり從て其歸韓は十五日頃ならん

▲警部の配置　今回警視廳より警部六名の派遣あるおとにつき顧問と該警部と内五署に一名宛を配置し丸山顧問の配下として警察事務の刷新を圖るべき必要より生じたる派遣なるが如し

▲韓國の刑法改正　本部は韓國刑法改正[illegible]

▲下[illegible]近日復來國に赴かるゝおとに決定せり

▲三國公使の謁見要件　其要件の推測て[illegible]是等は無論三國公使の共通的問題にあらず[illegible]具體的は如何[illegible]外交當局者の言明なき以上此兩三日間は知るに由なかるべし

▲[illegible]英語、獨國語の[illegible]異議なし

▲民會豫算[illegible]評議員總會を開き本年度豫算を[illegible]

●大邱通信（三月十日特派員發）

▲金穀合同調査　[illegible]外部に公文を送り合同契約は本使と協辦尹致昊と先日面談したる處なるが貴大臣より[illegible]期日是非契約を締結せん事を請ふと申送りたり

▲京釜鐵道　京釜は京仁及兩鐵道に沿ふ電線取締規則京釜京仁兩鐵道及び之に沿ふ電線は軍用鐵道、用電線に關する軍令を適用する事と七日よりなりたり

▲國賊指定　贊政崔益鉉は是非とも[illegible]を奉呈し今度は國賊六名の姓名を指定すと

●共進會の告示

共進會慶北支府商業會議所長と稱する李[illegible]外數名の事は前信報じたる如くなるが同會員は一進會員の如く別に斷髮洋裝等の事なく純然たる[illegible]

●元山通信（三月八日）

[illegible]

●特別料理店　其僅かに三戶にて藝妓の十余名に過ぎざる不足の程推して知るべし

●元山府新聞の發行停止　元山にて隔日發行する元山時事は新聞紙條規に關し軍政執行官の認可を經ざるべからざる[illegible]

●京釜鐵道の軍用

今回京釜鐵道及同鐵道京仁線を軍用鐵道とし同鐵道に沿へる電線を軍用電線となし軍司令部より別項の如く軍令を布きたるが更らに聞く所によれば從來各地方に起りたる火賊の如きも其鐵路は韓廷の手を煩はしたるも今後は我邦人に對して火賊の爲め損害を受けたる場合には從來の如く其責任を韓廷に歸せずして凡て我手に於てこれを處分する方針なりといふ

●鐵道取締軍令

駐劄軍司令部より本月七日附を以て京釜鐵道會社へ宛て今後左の軍令を適用する旨通知ありたり

軍令

一、軍用電線（軍用鐵道）に害を加へたる者は死刑に處す

二、情を知つて隱匿する者は死刑に處す

[illegible]

●物價韓錢相場衰退　右物價韓錢の相場を抑制に附し日々一

●奉天陷落と當港內の景氣　二月以降年の如く商況の衰頹期に入りたると共に韓貨對又不振の悲況を呈し[illegible]する見込なき矢先偶然にも奉天の陷落となる奉天の陷落をもいふべき一聲に接したるもの[illegible]

◎鑵詰製造の休業　軍用鑵詰以外の該業は目下漁獲期にあらざるを以て一時休業せざるべからざるおと例年の例なるを以て[illegible]

●漁業視察者　[illegible]

●不正極まる賣藥行商者　[illegible]

◎大邱の水產會社設立　[illegible]

●本日の大戰捷會

[illegible]

●岡部子の韓國審案

[illegible]

大商店訪問記（三）

▲倉成商店（本町）

店主は少壯實業家也[illegible]

[illegible]

釜山天氣豫報　[illegible]

(明治三十八年一月十四日第三種郵便物認可)

朝鮮日報

●天然痘發生　當港附近に於ては昨日も左の一名發生せり注意すべし
原籍佐賀縣小城郡影島東方
韓人家屋　濱本道太郎(四つ)

●傳染病發生患者數　本年一月以降當署管轄内にて發生全治死亡せし傳染病患者數は左の如し

		發生	全治	死亡
天然痘	男	一七	一〇	七
	女	一二	一一	一
腸窒扶斯	男	一	〇	一
實布的里亞	女	一	〇	一
	男	一	〇	一

●泥酔の亂暴　酒が爲さする業で手あるが順でもねば野良もおかたものかな當港辛町菓子製造所職工隅田正吉及樽井巳之助は一昨夜何所で打寄り酒酌み替して佐須土原の花で揚句が泥酔の上機嫌で佐須土原の花で牛肉屋へ入込み酒に酒肴を食び、吹鳴るけめ曲れ込んだが嫌しく日韓國人は大に迷惑を蒙り喧嘩の火花を散して戸外に飛び出で救ひを求めた(後略)

●賣春婦のお灸(夫れも六組)　色は思案の外とやら天下の御法度まで犯して慾を稼ぐ馬鹿者共の人情かや奈良縣深上郡大方村大字資本當時當港西町三丁目六十一番地料理屋金島事稻田エチ(三十)は昨日午前一時頃同家二階に於て長崎縣人中瀬今朝五郎(三十)と佐賀縣東所浦村字ゆ水當時同上寒谷シク(二十)は同時大阪人掘源作(十九)に宮崎縣兒湯郡北村當時同上尾崎ナカ(十九)愛知縣人江崎吉五郎(三十)福岡縣門司港當時同上藤室サナ(十九)は弘前縣人田坂市太郎(三十)に何れも身代一圓五十錢にて長崎縣長崎市大手町當時當港西町丁目飲食店松本芳吉方酌婦森田ツヤ(二十)は同日同時に香川縣大蔵遞田助(三十)に九十錢にて佐賀縣杵嶋郡武雄町當時同上樂吉リエ(三十)は福島縣人宇田新吉(七十)に同額にて密淫賣中現行を押へられ何れも一圓五十錢の科料に處せらる

●仲居のお灸　福岡縣築上郡唐原村字下唐原當時當港西町三丁目六拾一番地料理屋金島事稲田方仲居中上ヨシ(三十)は二十三名を客に媒介せし廉にて一圓九十錢の科料に處せらる

●遊廓の税廢　佐須土原各貸座敷の上客は昨今始めて遊廓も、一般の多分景氣が少ない所へ客の不景気を口実として昨今より多分は非に至らんかといへり

●新鮮の景氣　四五日前廓へは漸く快復し一時は殆んど一般の客も無く流行りたる不景氣を知り一昨夜の如き向日の二階の遊客を見たり

●競鼓の新調　三味線片手に出かけるは當川縣高松生松山エキ(二十)にて梅助と云ひ佐須土原南南樓より現れ出たり何れも佐須土原南南樓より現れ出たり

●昨日の相撲　昨日の相撲は雨天の爲め取組より雨天となり各力士も休業せり

相撲の人氣　去る九日辨天町の失火の際には相撲の連中が逸早く驅付必死となりて盡力し中にも小鴻山、海馬山、梅ケ谷など目覺ましく働きたるは人々の怪力で遂には荷物を運び出したる事なれば聞く人皆感心せざるはなく、相撲の人氣益々高まれり

●放火犯人護送　香川縣仲多度郡善通寺村大字上吉次百三十六番地當時韓國慶尚道往土方山中安太郎事三好安吉(六十)は秋風嶺地方にて放火犯人被告として捕縛され當警察署にて取調の上一昨日京都地方裁判所へ護送せり

●ボヤ　本町三丁目菜種屋事方にては昨夜八時頃洋燈の火を失し大事に至らんとせしも早くも消止めたり



▲我國郵便の掛函車を以て來る等の諸君に對し大いに注意を促す(後略)

▲奉天占領には又も祝捷會を開くか。

▲南濱の細小路には名たけは(後略)

▲無論祝せよ(中略)

● 釜山商況

△玄米　在荷は依然少くなく、氣配も更に角強く相場は騰貴の傾あり(後略)
△雜穀類　大豆は引き續き強氣配なり、並物七圓五十錢(後略)
△石油　は倍々低落の傾きなれば目下の所は(後略)
△砂糖　は大勢に於ては騰勢を見(後略)
△綿糸布類　は商況依然にて(後略)

(後略)

日本郵船株式會社 瀛船釜山出帆廣告
日東丸 三月十八日
ヲハヨ丁號 三月十四日
荷客取扱所 大池回漕店
大阪商船株式會社 汽船釜山出帆廣告
安東丸 三月十二日
二見丸 三月十六日
義州丸 三月十九日
アモイ號 三月十二日
ハイキンク 三月九日
木浦丸 三月十二日
漢城丸 三月十七日
蒼龍丸
舷川丸
琴平丸
ホモイ丸
群山丸
東丸
ハイキンク
三見丸
義州丸
千取用丸
義州丸
瑞穂丸
大阪商船株式會社 汽船釜山出帆廣告
若津丸 午後六時
荷客取扱店 釜山出帆廣告 國中商店
萬歳丸
山陽丸
馬山浦丸
八頭司船舶部 釜山出帆
京畿丸 三月十一日

慶尚號 三月十八日
泰盛号 三月十二日
正成丸 三月十七日
山川回漕店
松前丸 三月十三日
幸光丸 三月十六日
寶静丸
貫効丸
山川回漕店
瀛船釜山出帆廣告
太湖丸 三月十五日
神代丸 三月十四日
崇敬丸 三月十八日
大有丸
大池回漕店
錦龍丸
瀛船釜山出帆廣告
永田丸 三月十四日
スルヘルク號
共同丸
沖永回漕店
共同丸
永田丸
釜山運輸組
世昌洋行汽船廣告
タクマル 午後五時出帆
スルヘルク
齋藤回漕部
瀛船釜山出帆廣告

防長丸 三月十二日
浦門丸 三月十五日
三木回漕店 電話八三番
廣告
支那料理 東京そば 東庵
滋養牛肉ソップ 平田秀吉
勉強御下宿 伊豫屋
精白米廉價販賣 西原商店
唐津石炭 國安商店 電話一七一
活版印刷 日本堂
産婆 神保ヨシ
寫眞撮影 平井寫眞舘 風俗各種アリ
材木建具廉價販賣 平松商店
磨擦米廉價販賣 岡本商店 電話三拾一番
板材木廉價販賣 島末商店
青物乾物 砂糖麥粉 遠藤商店 電話架設中
會席御料理 仕出し 春日
活版印刷 立志社
純良牛乳 稻尾牛乳店
御料理 麥とろ あそび (電話二四四)

清酒 櫻正宗 櫻魂 西町三丁目 上西酒店 (電話番)
歐米時計各種 金銀赤銅 附屬品 修繕 眼鏡 園田時計店 幸町一丁目 (電話一〇番)
時計 保險附修繕 迅速と廉價ヲ主トス 釜山港西町三丁目一番地 嶋田旭賞舍
各種煙草 銘茶 各種石鹸 歯磨類 麻裏草履 石鹸 御小賣共大勉強 南濱小倉庵前 宇田商店
蜂印葡萄酒 血を増し肉を肥し胃を健にする 強壯的飲料は本品に如くものなし 韓國一手輸入元 釜山幸町二丁目 齊藤支店 (電話番號一四四)
丁寧親切 南濱埋地六番町 柳井旅舘
調劑所 處方調製ノ依賴ニ應ズ 釜山 前田藥舘
獸醫 中尾祐作 電話四拾四番
西洋御料理 附玉突場 Restaurant 釜山幸町一丁目 小倉庵 電話一五一
萬小間物類 並ニ石鹸足袋 下駄系化粧品類 藤井商店

謝近火御見舞 釜山辨天町 鈴木商店
謝近火御見舞 加納商店
謝近火御見舞 智戸勢
謝近火御見舞 高木つね
近火ノ節ハ早速御見舞被下難有奉存候 天辨町二丁目 上杉乾物店
謝近火御見舞 辨天町寫眞舘 平井完一
謝近火御見舞 中川重太郎
謝近火御見舞 浅海原治郎
謝近火御見舞 惠谷堂
謝近火御見舞 中村清七
謝近火御見舞 辻川勢二郎
謝近火御見舞 前田勘重
謝近火御見舞 あつまや
謝近火御見舞 山田新聞舗
謝近火御見舞 山口謙男
謝近火御見舞 宇田商店
謝近火御見舞 西川商店
謝近火御見舞 田口瀬三郎
近火答禮 辨天町六丁目 鈴源

謝近火御見舞 釜山本町一丁目 陶山洋服店
謝近火御見舞 南濱 日本堂
謝近火御見舞 内山呉服店 原口商店
昨夜近火之節ハ早速御馳付被下有難奉謝候 新堂
昨夜近火之節ハ早速御馳付被下難有奉謝候 吉見勝次郎
昨夜近火之節ハ早速御馳付被下難有奉謝候 柴田德造
粟酒店
呉服太物洋反物商 飯田權之助
上村容
洋酒商 粟明宇三郎
釜山土木合資會社 福田増兵衛
煙草商 永吉正次郎
大池忠助 同商店
三月十日
小倉庵
和田野醫院

昨夜近火之節ハ早速御馳付被下難有奉謝候 幸町一丁目 大惠呉服店
昨夜近火之節ハ早速御馳付被下難有奉謝候 時計商 園田竹次
昨夜近火之節ハ早速御馳付被下難有奉謝候 南濱通 白田喜一郎
昨夜近火之節ハ早速御馳付被下難有奉謝候 辨天町三丁目 呉服類物商 鳥甚吉
昨夜失火ノ際ハ早速御馳付被下種々御盡力ヲ辱ウシ御厚情奉拜謝候
尊名伺ノ御方モ有之候ニ付各位ニ御禮申上候
明治三十八年三月十日 日韓工業組 釜山出張所
右廣告ス 印鑑 組長 菱川之印 濱中又三郎
昨夜近火之節ハ早速御馳付被下難有奉拜謝候 混雑中御尊名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御厚禮申候 桑野支店
昨夜近火之節ハ早速御馳付被下難有奉拜謝候 混雑中御尊名伺洩モ可有之ト存候間乍略儀以新紙御厚禮申候 清酒商 長好商店